

ボーリング柱状図

調 査 名 一級河川 太田川水系 杉坂下川砂防事業に伴う測量設計等業務委託

[illegible]

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 4		調査位置		東広島市志和町 志和堀地内						北緯		34° 30' 11.45107"			
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所				調査期間		平成 31年 2月 21日 ~ 31年 2月 26日				東経		132° 41' 14.49452"			
調査業者名			主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者					
孔口標高	335.278m		角		180° 上 90°		方		北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配		鉛直 90° 水平 0° 20°		使用機種	
総掘進長	10.00m		度		下 0°		向				試錐機		D1-B (東邦地下)		ハンマー落下用具	
											エンジン		NFD-13 (ヤンマー)		ポンプ	
															BG-3 (東邦地下)	

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記号	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験(掘進月日)		
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数		打撃回数／貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料番号	採取方法			
												0 〳	10 〳								20 〳	
	334.88	0.40	0.40		砂礫混り粘土	暗褐			表土、木根等を含む有機質粘土である。	2/25 6.07	1.15	2	5	5	12 30	12						
1					礫混り砂	淡褐	中位		風化花崗岩の二次堆積物。中～粗砂主体でφ10mm以下の礫を混入する。	1.45	50 6				50 6	250						
2	333.22	1.66	2.06						硬質花崗岩転石。岩質は堅硬緻密である。	2.00	2.06											
	332.78	0.44	2.50		転石	白灰				2.25	3.06	5	6	8	19 30	19						
3					礫混り砂	褐灰	中位／極密		風化花崗岩の二次堆積物。中～粗砂主体で、φ10mm程度の礫を混入する。層中所々、岩構造を明瞭に残す花崗岩風化礫が分布する(4.2m付近等)。	4.05	4.19	29	21 4		50 14	107						
4										5.00	5.00	貫入不能			50 0							
5	330.28	2.50	5.00		転石	白灰			硬質花崗岩転石。岩質は堅硬緻密である。	6.15	6.45	9	14	21	44 30	44						
6	329.86	0.42	5.42		砂礫	褐	極密		風化花崗岩の二次堆積物。φ5～60mmの亜角礫を多く混入する。基質は均粒細結のシルト質極粗砂主体で含水は小である。概ね基盤岩起源の礫・砂よりなる。	7.15	7.34	24	26 9		50 19	79						
7	328.28	1.58	7.00							8.05	8.23	23	27 8		50 18	83						
8					風化花崗岩	褐灰	極密		花崗岩の風化帯。芯部まで風化が進み、土砂化が著しい。岩構造は明瞭に残るも、指圧で容易に圧砕され、礫混じり砂～砂礫状を呈する。D _{NH} 級、軟岩Iに区別されるが、深度10mの貫入試料はLC級相当である。	9.00	9.14	29	21 4		50 14	107						
9										10.00	10.03				50 3	500						
10	325.28	3.00	10.00																			